

デジタル技術でつくる

誰もが快適に暮らせる 幸福度No.1のまちへ

診療所の
機能を搭載した
車両が誕生！

※ 医療 MaaS ※



自分の
生涯カルテが
デジタルになる

※ PHR ※



安心できる
介護サービスが
受けられる

※ 介護 DX ※



「ヘルスケアDX」が始まる！

DXとは、情報技術やデジタル技術を駆使し、サービスの提供方法を根本的に変え、品質の向上や効率化を図ることです。

仙北市でヘルスケアDXが始まれば、今まで不便だったことが解消され、市民の方がより良い医療サービスを受けられるようになる、ということ。皆さんのこれまでの健康診断や診療の情報をデータで管理できるようになったり、移動診察室が順次サービスを開始するなど、これから新しく生まれ変わる仙北市の医療サービスについて最新情報を毎月発信していきます！

デジタル田園都市国家 構想交付金を活用しています！

デジタル田園都市国家構想とは全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会の実現を目指し、政府が打ち出した政策。「デジタルの力で、地方の個性を活かしながら社会課題の解決と魅力の向上を図る」ものです。仙北市ではこの交付金を申請、交付が決定。今回の「ヘルスケアDX」に向けた各種サービスの整備を進めています。

以下のことができるようになります！

1 医療MaaS導入で、診察が受けやすくなります。

とても面積が広い仙北市では、医師が車で移動するこれまでの往診では時間がかかりすぎてしまうという問題がありました。そこで、診察に必要な医療機器や看護師を乗せた専用車が患者のもとに向き、診療所にいる医師と遠隔通信で繋いで診察をする新しい医療サービスを提供します。

2 PHR導入で、健康記録をすべてデジタル化。

生まれてからこれまで、さまざまな医療機関で受けた診察の記録やカルテの情報、加えて学校での健康診断の記録や日常の健康情報などを一元管理するPHR(パーソナルヘルスレコード)を導入します。既往歴や処方薬の情報を本人や市内の医療機関、秋田大学病院などで共有可能となり、精度の高い医療を受けることができます。PHRの導入により、毎日の食事をAIによる画像判定でカロリー計算などを行うことで、生活習慣病の軽減に導き健康寿命の延伸に繋がります。

3 介護DX導入で、煩雑な介護記録をデジタルで効率化。

介護制度を活用するため、正確な介護記録を残すことはとても重要なお仕事。介護現場の職員の方々の事務負担は非常に大きくなっています。一人ひとりの介護記録を、より効率的かつスムーズにするため、介護DXを導入。働く職員や利用する市民にとっても快適な環境を整えます。

お問い合わせ

医療MaaSについて ▶ 仙北市西明寺診療所
TEL / 0187-47-2123 FAX / 0187-47-2178

PHRについて ▶ 仙北市役所 保健課
TEL / 0187-43-2252 FAX / 0187-54-1117

介護DXについて ▶ 仙北市介護老人保健施設 にしき園
TEL / 0187-47-3211 FAX / 0187-47-3213

毎月1回、サービスの詳細や進捗について「せんぼくヘルスケアDX通信」でお知らせします！

ポータルサイトは1月末公開予定！